

第 2 回 交 流 活 動 計 画

活動名		ねんちょうさんともっとなかよくなりたい！『あきまつりだいさくせん』
実施月日		令和6年11月27日（水）（9：50～11：30）
参加者		うららか保育園 年長組 22名（2名×4チーム 1名×14チーム）グループ番号①～⑱ 担任・園長・保育士 春野平和保育園 年長組 9名、（2名×2チーム 1名×5チーム） グループ番号⑲～㉓ 担任・園長 春野東小学校 1年1組 25名、（1名×25チーム）担任・校長
実施場所		春野東小学校 体育館
活動のねらい	幼児	○（交流活動に対するねらい）小学校への訪問を楽しみにし、積極的に1年生に関わろうとする。 ○（指導計画に基づくねらい）1年生と交流を深めることで小学校生活への期待を高める。
	児童	○（教科等）本時の目標（生活科）年長さんの思いに寄り添って伝え方を工夫し、おまつりを一緒に楽しんでいる。 ○（本時の評価規準）【評価の観点】幼児の反応や状況に合わせて伝え方を変えたり、繰り返し伝えたりして、進んで交流しようとしている。【主】
準備物 (持参物)	幼児	・名札カード・手提げ袋・上履き・どんぐり（1人10個）
	児童	・名札カード・各グループが作ったおもちゃ等店で使うもの・色のリボン
	教師	・修理用の道具（セロハンテープ、ガムテープ、サランラップ、アルミホイル、ボンド等） ・オルガン ・CD デッキ ・CD ・ホワイトボード（2台） ・長机 ・児童机、いす
事前の学び (遊び・学習)	幼児	・当日、お買い物をするためにお金（どんぐり）を用意する。 ・なべなべそこぬけ、9マス鬼ごっこの遊びをしてみる。
	児童	・身近な秋のものを使ったおもちゃや工作を考え、園児に楽しんでもらえるように計画し、準備したり、手直しをしたりする。

<活動の展開>

幼児への支援等	時程	幼児・児童の活動	児童への支援等 (◆評価規準)	備考
○降車後に人数確認を行う。 ○靴を脱ぐ、上履きをはくなど一つ一つの身支度ができているか見守りながら声をかけ、体育館へ移動する。	9:50	・春野東小着 ・体育館に移動	○歓迎の気持ちでお迎えするように準備しておく。 (体育館で待機)	
	10:00	1. 始めのあいさつ ・今日のめあてを確認する。	○児童が自分たちで進行できるように声かけする。	
あきのおみせでいっぱいたのしもう。 いっしょにあそんでもっとすごくなかよくなろう。				
○司会のお話を静かに聞くことができるよう見守る。		2. 活動の確認 ・グループづくり (自己紹介・あいさつ) ・なべなべそこぬけ ・おもちゃまつり（前半） ・おもちゃまつり（後半） ・お楽しみタイム ・ふりかえり	○交流の見通しがもてるようにプログラムと会場図・めあてを掲示する。 ○補足があれば伝える。	・グループは前回のペアを使って作る。
○個々の様子を見守り、必要に応じてことばをかけたり、一緒に自己紹介を行ったりするようにする。	10:05	3. グループづくり (自己紹介・あいさつ)	○自分のペアの年長児を連れて並ばせる。名前を確認したり、挨拶を交わしたりして関わっている児童を認める。	

○活動に入れない幼児がいたら、そばで話を聞きながら、安心して活動に入れるようにする。	10:10	4. 手遊び (なべなべそこぬけ) ペアと⇒グループで	○ペアの年長児と楽しめるように声をかけ、見守る。 ○触れ合いなどが苦手の児童の近くで一緒に楽しく活動を盛り上げる。	
○安全面に配慮する。 ○人数確認を行う。 ○子どもの様子に応じて、前半・後半チームのメンバーや活動の流れなどを個々に伝え不安のないようにする。 ○子どもと児童の関わりを見守りながら、困っているときは必要に応じて言葉を添える。 ○楽しい気持ちに共感していく。 ○初めての場所だと緊張する園児もおり、楽しめるように積極的に声をかける。	10:20	5. おまつり交流をする (前半) 10:20～10:35 準備・引継ぎ等 (10分) (後半) 10:45～11:00 ★お楽しみタイム (10分) (園児がもう一度やりたいことを選択して、楽しむ。)	○先にお店を担当するチームは、ペアの年長児にお店や仕事の説明をする。自信がない児童には励ますように前向きな合図や指示をしながらサポートする。園児に、後からお店を回ることができることを伝えておく。 ○先に店を回るチームは、ペアの年長児にどの店から回りたいか聞いたりして準備をするようにする。 ◆幼児の反応や状況に合わせて伝え方や内容を変えたり、繰り返し伝えたりして、一緒におまつりを楽しんでいる。	・修理用の準備物は多めに用意しておく。 ・全体の準備が整ったことを確認して始める。
		【お祭りの屋台】 ・ゲームや ① 9マスおにごっこ ② さかなつり ・こうさくや (松ぼっくりのけん玉) ・あきクイズや ・お店や (食べ物、アクセサリ等販売) ※途中お金が足りなくなったら どんぐり銀行でおろしてくる。	【主】 ○年長児の立場になって一緒に楽しんだり、困り感に寄り添ったりしている児童を評価する。 ○児童、年長児に前後半交代、終わりの合図は音楽で知らせる。	
○子どもの気持ちに共感しながら次回の交流に期待が高まるようにする。	11:10	6. ふりかえり ・チームで ・1年生から ・年長さんから	○「楽しかった」「嬉しかった」だけの振り返りにならないように「何が」「どうだったのか」を答えられるように声をかける。 ○友達の感想に、共感しながら一生懸命に聞く姿を認める。	・感想発表は、まずペア同士で楽しかったこと等を1年生が聞きながら会話し、その後みんなに発表するようにする。
○静かに話を聞くことができるように声をかける。	11:20	7. 終わりのあいさつ 帰りの準備をする	○代表者が自信をもって言えるように促す。	
○感謝の気持ちをこめて、気持ちのよいあいさつができるようにする。	11:30	8. お見送りを する (体育館)	○お見送りをすることで、最後まで触れ合えるようにする。 ○名前を呼んでいる児童を認める。	

事後の学び (遊び・学習)	幼児	・仲良くなった1年生との交流を振り返り、また一緒に遊びたいという思いや一緒に遊んだ遊びをもう一度園でやってみたいという気持ちへとつなげていく。
	児童	・交流活動の経験の中での幼児の様子や感想を振り返り、自分や友達の頑張りや伸びに気づき、お互いに喜び合ったり、褒め合ったりする。